

関西バイオ医療研究会 第14回講演会

産業技術総合研究所 関西センター研究講演会

主催：産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門／関西センター 共催：関西医薬品協会

医療、創薬、介護、健康に関わる課題解決に向けて、産総研と周辺機関の相互の知見・技術を活用し、個別に進めてきた研究開発を融合することにより、オープンイノベーションの促進が期待されます。このような研究会を通して、医療機関、産総研と産業界の連携が強くなることにより、アカデミアの有望な技術シーズの実用化を促進していきたいと考えています。

開催日時 令和 3年 10月22日（金）13:30～17:50（受付開始 13:00）

開催場所 産総研関西センター C-4棟 2階 第8会議室（大ホール）

司会進行：七里 元督（産総研 バイオメディカル研究部門 細胞・生体医工学研究グループ グループ長）

13:30 開会挨拶 栗山 信宏（産総研 関西センター 所長代理）

講演第一部 「細胞治療」

13:35 招待講演1 「細胞製造業が産業として確立するために必要とされる技術革新とはどのようなものか
— 遺伝子細胞製剤の製造現場から見てきた課題とその解決策について —

川真田 伸（神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センター センター長）

14:25 「再生能が異なる生物種の比較解析による神経再生促進因子の探索」

清水 勇氣（産総研 バイオメディカル研究部門 細胞分子機能研究グループ 研究員）

講演第二部 「核酸医薬・蛋白質医薬の新規モダリティ」

15:05 招待講演2 「人工核酸を活用した創薬開発と核酸医薬品生産の現況」

佐藤 秀昭（ルクサナバイオテク株式会社 代表取締役社長）

15:55 「Tgニワトリ生産系の高度化実証

～ ゲノム編集Tgニワトリはひっ迫する組換えタンパク質生産需要を補完できるか？ ～

迎 武紘（産総研 バイオメディカル研究部門 先端ゲノムデザイン研究グループ 研究員）

講演第三部 「医薬品生産プロセス」

16:35 「ロボティックバイオロジーの現状と課題～ロボットは生命科学のツールになるか～」

光山 統泰（産総研 人工知能研究センター オミクス情報研究チーム 研究チーム長）

16:55 招待講演3 「抗体医薬品の製造 — プロセス開発上の留意点や最近の話題 —

内田 和久（神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科

科学技術イノベーション専攻 特命教授）

17:45 閉会挨拶 田村 具博（産総研 生命工学領域 領域長）

申込方法 以下のURLからお申し込みください

<https://www.aist.go.jp/kansai/ja/news/e20211022.html>

問合わせ先

産総研関西センター 研究講演会事務局

TEL:072-751-9606

E-mail: M-kansai_bio-jimu-ml@aist.go.jp

